

暑さ、乾燥、豪雨 土づくりで備えよう

7月号

昭和肥料ニュース FAX版



Vol. 011

7月に入り 大雨・低日照による生育被害や停滞が懸念される状況が続いております。そんな時節ではありますが、地域によってはJAが既に来期水稲用肥料の注文取りを開始してるようです。前倒し傾向にご注意ください。

今月号は現場からお聞きした、土づくりの事例をお知らせします。

★藻※1の発生が少なく、生育良好！！（※1…アオミドロや表層剥離等の藻類全般）
関東某所のT様は「HSCによる秋からの土づくり」を行い「藻の発生も激減した」とお喜びです。（浮きワラ対策で施用されてました。）

化学肥料由来のリン酸の蓄積、土壤生物の減少、稲わらの腐熟不足などで春からの圃場水の富栄養化が発生。その結果、藻の増殖が盛んになります。HSCの有用菌により圃場環境が改善されたと考えられます。

「浮きワラの発生」「ガスわきによる初期生育停滞」「藻の発生」が問題でお困りな方に、今秋からのHSCでの土づくりが面白いと思います。

【使い方】

稲刈後、地温がある時期に反2~3袋施用し、その後浅めに鋤き込みます。なお、秋に入れない圃場は春早めに反3~5袋施用してください。稲わら分解促進のため、窒素肥料や弊社土づくり資材を同時施用するとさらに効果的です。（石灰窒素等の殺菌力があるものは同時施用不可）

スタッフ通信

弊社スタッフの近況や
つぶやきをご紹介します♪

事務部の寺口さん に聞いてみました！
お花が大好きで苗をついつい購入してしまうそうです。自宅で上手く育たない時は、弊社のプロ向け肥料を使うと元気になると教えてくれました。（色が鮮やかで、長く咲いてくれるのだとか…）
「昭和肥料です♪」優しく癒される電話対応が取引先様から好評です。弊社へのお電話の際はよろしくお願ひします。



**稀少な有用菌を
贅沢に配合！**

**センチュウ被害対策の
ロングセラー製品**

**分解菌も含み、稲わら
腐熟や野菜残渣処理へ
の使用が密かなブーム、
収穫後の土づくりで来
作が違ってきます！**



お問い合わせください HPアドレス <https://showa-f.co.jp>

TEL 0766-67-2700 FAX 0766-68-1227

SHOWA
土づくりを応援します
SINCE 1968